

# 障害者雇用または職場実習生 受け入れをお考えの企業の方等へ

長崎県CSR通信  
～ 第92号 ～

昨年度のCSR通信より、施設の特徴ある取り組みや企業と施設の取り引き事例の紹介に加え、一般就労へ向けた取り組みにもスポットを当て通信を発行しています。  
今回は、障害のある方を多数雇用しておられる（株）大光食品様（島原市）を紹介いただきましたので、障害者を雇用するに至った経緯や現状等を社長室長猪岡様にお話を伺いました。

## ～ 障害のある方を多数雇用 （株）大光食品 ～

雇用している障害者の方は何名ですか？

猪岡様「グループ会社を含めた全従業員400名弱のうち42名を雇用しています。ほとんどが知的障害のある方です。」

障害のある方はどんな仕事をしていますか？

猪岡様「工場毎に業務は異なりますが、弊社では、主に食肉の加工を行っていますので、刃物を使った肉の解体やカット、梱包のための機械操作等、様々な業務を行っています。」

御社の障害者雇用に対するお考えは？

猪岡様「社会貢献の一環として障害者雇用に力を入れている面もありますが、それだけではなく、全員戦力として雇用しています。民間企業ですので、当然生産性も求めます。」

雇用する上で、気をつけていることは？

猪岡様「その障害者がどの仕事にマッチするか事前に十分検討しています。」

また、障害者の方と接するのは、仕事中が主ですので、プライベート等の変化に気づくことのできるよう、関係機関とも連携し、月1回ケース会議を開催しています。今後は、一人ひとりの特性を把握できるようマニュアル作りを行うことも検討しています。」

障害者の雇用を検討している企業等へ対しアドバイス等ありますか？

猪岡様「設立（昭和45年）以来、障害者を雇用している自分たちでも障害に対する知識が足りないことは自覚しています。ですから、今でもミーティング等を通じて勉強しています。」

障害を単に障害とネガティブに見るのか、その人の個性と見るかで見え方はかなり変わります。

何より、まず短期間でも構わないので、接してみる、実習を受け入れてみるのが重要なのではないのでしょうか。」



猪岡様（左）と宮本様（右）。宮本様は、本県初の第2号職場適応援助者の資格をお持ちです。



仕事風景。  
猪岡様の「戦力」という言葉が表すように、一人で業務をこなすので、どなたが障害のある方なのかわかりませんでした。



梱包のための機械操作も自分たちだけで作業していました。

本FAXの送付を希望されない方は、大変お手数ですが、その旨ご連絡ください。

「長崎県CSR通信」 発行部数2,526部  
電話095-895-2454 FAX095-823-5082  
発行 長崎県障害福祉課（担当：藤川）  
平成24年5月11日 バックナンバーは「長崎県CSR通信」で検索

～長崎県社会福祉協議会からのお知らせ～  
「愛の福祉基金」助成団体を募集（〆切6/8）  
詳しくは下記へお問い合わせください。

長崎県社会福祉協議会 総務課  
(TEL095-846-8600)